



赤磐市議会だより

令和6年3月議会 第77号



赤磐市議会ホームページ



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

ホームページ
では議会の情報
や、本会議、委
員会の中継を配
信しています。

赤磐市議会

検索

CONTENTS

3月定例会のあらまし	2P
委員会のうごき	6P
13人の議員が一般質問	12P

令和5年度補正予算（一般会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（3億5883万円増額）（第6・7号）

・住民税非課税世帯等臨時給付金（2億1272万円）等

3月定例会のあらまし

議案審議

赤磐市ハレカハーフ基金条例を可決

ハレカハーフの利用者がチャージした金額のうち、年度を超える未利用分を基金に積み立てるための条例。

問 基金として一般会計から積み立てる根拠、予算案のどの款・項・目で幾ら拠出するのか。

答 積み立ては暦年で精算を行う予定で、12月31日までのチャージ総額と利用額の差額を基金に積み立てる。積立金は令和7年3月議会で補正予算を計上し2款総務費、1項総務管理費、16目特定目的基金費の特定目的基金事業として積み立てる。

3月定例会を2月16日から3月14日まで28日間の会期で開催した。人事案件5件を同意・適任、議案29件を可決、修正案1件を可決、修正案1件を否決、請願1件を採択とした。また、議員発議の意見書2件を可決とした。

赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を可決

人事院の勧告に伴い、国の規定に合わせて職員手当の改正を行うもの。

問 職員の在宅勤務の職種は。また有料道路を通勤に利用する職員は何人と想定しているのか。

答 職種は限定しておらず全職種を想定している。有料道路を通勤に利用する職員は2人程度を想定している。

赤磐市子ども医療費給付に関する条例の一部を改正する条例を可決

高校生等までの医療費の自己負担1割を削減して無料とするもの。

問 医療費全額給付の対象期間はいつまでか。また、高校非進学者、高校中退者、就労者、所得がある18歳までの者も対象になるのか。

答 出生の日から満18歳に達した日以降、最初の3月31日までを対象期間としている。高校非進学者、高校中退者、就労者、既婚者と特に区別はない。年齢だけで判断する。

問 実施が7月1日からだが、なぜ4月からではないのか。

答 議決後、県に報告し県から県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、国保連合会、社会保険診療報酬支払基金へ周知となると、3カ月ぐらいいは時間がかかる。市は広報あかいはの掲載、新しい受給者証の印刷、該当者へ発送する時間を考慮して7月1日としている。

赤磐市水道条例の一部を改正する条例を可決

使用者の負担を軽減するため、水道料金を引き下げるもの。

問 条例改正のポイントとなる点の詳細説明を。

答 老朽管更新の見直しによるコスト削減や水道メーター検針の効率化による事務費の削減を図ったことで、水道事業会計は黒字を続けている。こうした状況から水道料金を値下げして市民に還元するのが条例改正のポイントである。

問 条例改正された場合、市の減収は1年間で総額いくらになるのか。

答 約2600万円の減収を見込んでいる。

問 令和6年7月1日から値下げとなっているがいつまでなのか。

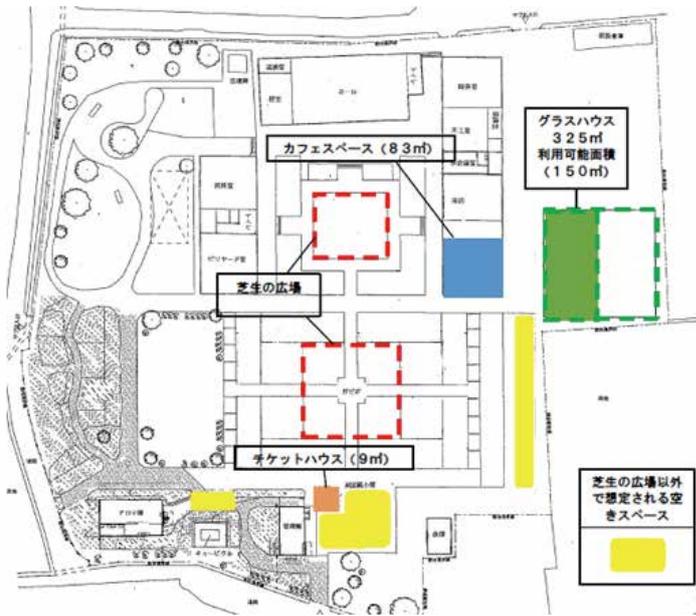
答 5年をめどに、再度その時点で収支を再検討して、料金の見直しが必要かどうかチェックをする。

赤磐市熊山英国庭園条例の一部を改正する条例を可決

芝生の広場以外の屋外スペースに新たな利用料金を設定するもの。

問 芝生の広場以外の屋外スペースに新たに料金設定をして、利用料を徴収するとなると利用者が減るのではないか。

答 利用料金の設定のな



熊山英国庭園配置図

い部分は、市、地域おこし協力隊、熊山英国庭園活性化委員会が主催するイベントなどに活用してきた。

一般の人から料金設定がない部分の使用の要望があり、新たに利用料金を設定し、利用者の増加と財源の確保を図る。

令和6年度赤磐市一般会計予算に対する修正案を可決

赤磐市社会福祉協議会は、数年前から組織内の問題点が指摘されている。

- 一部管理職員からのパワハラ行為がまん延し、その結果離職者が多く発生していること。
- 職員の残業代の未払いがあり申し立ても無視されていること。
- 職員給与と規程が赤磐市職員の給与に準ずることが求められているが、定年後の給与についても昇給が続くなど、独自の改正がなされていること。

これらの問題に赤磐市から改善要求が出されたが無視し続けた。こうした状況を事実と認識し、議会として看過することは許されない。よって、令和6年度一般会計当初予算の社会福祉協議会補助金の8754万3千円を減額し、予備費に組み替えるという修正案を全員一致で可決した。



次のとおり同意・適任とした。

赤磐市教育委員会委員

峰平さやか (周匝)

【任期】

令和6年5月20日
令和10年5月19日

人権擁護委員

岩本美代子 (中島)
藤原 伸哉 (沼田)
西山 俊吾 (黒本)
小野田勝範 (仁堀西)

【任期】

令和6年7月1日
令和9年6月30日

討論

議第11号 赤磐市水道条例の一部を改正する条例

【反対討論】 (1人)

▽この条例が施行されると、1家庭当たり126円の値下げ、全体では2600万円の減収になる。能登半島地震で、水道管の耐震化の重要性が再確認された。水道管の耐震化のスピードを上げる、水道管の補修を急ぐ、その方が値下げをするよりは、市民にとってプラスではないか。5年後には値上げが待っている。以上のことから反対する。

議第20号 令和6年度赤磐市一般会計予算

【反対討論】 (1人)

▽給食費の無償化が中途半端。高校生の通学補助が前進していない。子育て支援のハード面での進展がない。松くい虫防除のうち、空中散布の予算が残っている。以上のことから反対する。

議第21号 令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計予算

【反対討論】 (1人)

▽子供の均等割に対する配慮がないので反対する。

議第22号 令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算

【反対討論】 (1人)

▽保険料が8・4%の値上げになっている。よって反対する。

請願

請願第4号 再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願

【採択】

【要旨】

無実の者を誤った判決から迅速に救済するため、再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書を関係大臣、衆参議長に提出すること。

【賛成討論】

(3人)

▽冤罪に巻き込まれて人生を無駄にしないためにもこの請願を推進すべきと思うので賛成する。

▽法務省に有識者会議が作られているが、遅々として進んでいない。冤罪被害者のために再審法改正を早急にすべき。国会議員の議員連盟も設立された。よって賛成する。

▽無実の罪で一生を台無しにされる人が出ないよう、再審法の規定の見直しを早期にしてほしいので賛成する。

発議

発議第1号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

【可決】

【要旨】

地方議会議員が厚生年金に加入できるようにすれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚

生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続ける環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

発議第2号 「再審法」(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書

【可決】

【要旨】

検察・警察が持っている未開示の証拠を、裁判長の指示の有無に関わらず、開示する法律制度に改定すること。

裁判所が再審開始決定すれば、検察庁が異議の申し立て・上訴できない法律制度に改定すること。

【意見書提出先】

内閣総理大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長

動議

議第11号 赤磐市水道条例の一部を改正する条例に対する修正動議

【否決】

【要旨】

能登半島地震を受け、水道のありがたさを再認識した。将来への懸念、安定して運営できるのか。5年間の料金値下げは長すぎる。水道料金が将来大きく上がる懸念があり、せめて2年間で歳入、歳出の実績値を踏まえ検証を求める。

令和6年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	佐藤 武	
同意第1号	赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 第 9 号	赤磐市熊山英国庭園条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○
議第11号(修正案)	赤磐市水道条例の一部を改正する条例	否決	○	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	○	●	●	—	—
議第11号(原案)	赤磐市水道条例の一部を改正する条例	可決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第20号(原案)	令和6年度赤磐市一般会計予算 *修正案を除く原案	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第21号	令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第22号	令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第28号	令和6年度赤磐市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第4号	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書提出に関する請願について	採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	「再審法」(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※議第9号、請願第4号、発議第2号については可否同数であったため、議長において可否の裁決を行ったものです。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
議 第 1 号	赤磐市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議 第 2 号	令和5年度赤磐市一般会計補正予算(第6号)	可決
議 第 3 号	赤磐市ハレカハーフ基金条例	可決
議 第 4 号	赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議 第 5 号	赤磐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議 第 6 号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
議 第 7 号	赤磐市子ども医療費給付に関する条例の一部を改正する条例	可決
議 第 8 号	赤磐市青年の家条例を廃止する条例	可決
議第10号	赤磐市総合交流促進施設条例を廃止する条例	可決
議第12号	水道法改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
議第13号	赤磐市消防団条例の一部を改正する条例	可決
議第14号	岡山市及び赤磐市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第15号	令和5年度赤磐市一般会計補正予算(第7号)	可決
議第16号	令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議第17号	令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議第18号	令和5年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議第19号	令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議第20号(修正案)	令和6年度赤磐市一般会計予算	可決
議第23号	令和6年度赤磐市介護保険特別会計予算	可決
議第24号	令和6年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算	可決
議第25号	令和6年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算	可決
議第26号	令和6年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算	可決
議第27号	令和6年度赤磐市財産区特別会計予算	可決
議第29号	令和6年度赤磐市下水道事業会計予算	可決

総務 常任委員会

3月1日総務常任委員会を行った。議案4件及び請願1件について審査した。

条例の改正

赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

問 在宅勤務は、どう
いう場合で、どうい
う業務を想定している
のか。

答 家族・本人の事情
が必要になった場合や
災害発生時を想定して
いる。

申し出内容を所属長
と協議の上、個人情報
を持ち出さない形での
業務を検討して許可す

る。

問 個人情報漏えい等
の問題もある中で、セ
キュリティーに関する
規則は定めているのか。

答 個人情報保護法で
定めている。セキュリ
ティーポリシーを設け
ており、持ち出せる情
報と持ち出せない情報
を規定している。

問 通勤手当に有料道
路の規定は今までな
かったのか。他市の状
況は。

答 規定はなかったた
め、新たに追加する。
県内の他市についても
有効な手段と認められ
る市には同じ条例があ
る。

問 距離の制限はある
のか。対象になる職員
数は。

答 国の基準に従っ
て、通勤距離が40キロ
メートル以上、高速道
路利用で30分以上の効
果が見込まれるものを
対象としている。

現在の配置状況では

2人程度と想定してい
る。



山陽インターチェンジ

**赤磐市消防団条例の
一部を改正する条例**

問 従事時間の判断は
誰がするのか。

答 現場に出ている班
長や消防団長が従事時
間を明記している。



赤磐市消防操法訓練大会

**岡山市及び赤磐市に
おける連携中枢都市
圏形成に係る連携協
約の変更について**

問 男女共同参画推進
事業に参画するという
ことだが、赤磐市だけ
でなく連携協定してい
る他の市町も今回新た
に参画するのか。

答 岡山市、玉野市、
総社市、備前市、瀬戸
内市、真庭市、赤磐市、
久米南町、美咲町、吉
備中央町の10市町が参
画を予定している。

**請願第4号 再審法
(刑事訴訟法の再審
規定)の改正を求め
る意見書提出に関す
る請願**

主な意見

・ 検察が不利な証拠を
持っているも出さな
い、裁判所が再審決
定をしても検察官が
抗告・特別抗告をす
れば再審が始まるま
でに時間がかかる、

その2点をなんとか
しないと冤罪を生
む。そういうことが
ない法体系を作れと
いう請願なので賛成
する。

・ 冤罪は絶対いけない
し、早く法改正をと
いう意味では同意す
る。ただし、証拠は
裁判長の指示のもと
に出すべきと思う。

この請願の状態だと
賛成できない。
・ 冤罪をなくすだけの
内容ならよいが、2
点に特化しているの
で賛成できない。

・ 裁判長自身も意見が
分かれる内容であ
り、本当に難しい内
容だと思うので、継
続審査でもう一度勉
強したい。

・ 請願項目の2点が問
題になるので賛成で
きない。

厚生文教 常任委員会

3月4日に厚生文教
常任委員会を行った。
議案3件について審
査した。

条例の改正

**赤磐市放課後児童健
全育成事業の設備及
び運営に関する基準
を定める条例の一部
を改正する条例**

問 放課後児童クラブ
のみなし児童支援員の
研修を受ける期間を定
めるとは。2年以内の
研修の段取りは。

答 補助金申請の段階
で基本的には正式な児
童支援員が2人必要。
みなし児童支援員は
認定研修を2年以内に

令和5年度補正予算（一般会計・特別会計）4613万円の減額補正を可決



3月定例会のあらまし

委員会のうごき

いっぽん質問

その他協議会等

一般会計（1億4610万円増額）（第7号）
 国民健康保険特別会計（3833万円増額）（第3号）
 後期高齢者医療特別会計（1291万円減額）（第2号）
 介護保険特別会計（2億1765万円減額）（第3号）

3月6日から3月8日までの3日間、予算常任委員会を行った。議案15件について審査した。

過疎対策事業債を270万円減額

問 市民バスの運行事業に係る過疎対策事業債が3分の2に減額になった理由は。

答 デマンド型市民バスを2台購入予定であったが、事業者等の調整により1台の購入になったため。

公会計支援業務委託料を550万円減額

問 公会計支援業務委託料が当初に対して、550万円の減額が生じた理由は。

答 仕様の多少の変更と、契約の方法を随意契約から指名競争入札に変更したため。

公共交通事業者等支援金を631万円増額

問 631万円の内容は。

答 75歳以上と障害者手帳等を持っている者を対象にタクシードライバーを配布している。市民がタクシーに乗ったときにチケットを渡し、事業者から市に請求してもらう。当初見込みより利用が多くなることが想定され、今回補正している。

問 使えなかったという声も非常に多い。この施策の総括は。

答 タクシー事業者からは需要喚起になり大変ありがたかったとの声があった。しっかりと検証し、今後さまざまな施策の立案に役立てたい。

市民バス運行委託料を190万円減額

問 市民バス運行委託料の減額理由は。

答 入札による執行残である。



市民バス

その他体育施設管理費を6993万円増額

問 桜が丘運動公園野球場照明改修工事費が計上されているがその理由は。

答 令和6年度で計上予定であったが、国の交付金がつき、財源が確保できたので3月補正に計上した。

子ども医療費を1800万円増額

問 1800万円増額になっているが、毎年こういふ形になるのか。増加の理由は何か。

答 実績見込みにより増額した。コロナの5類移行により受診控えの反動で、3歳から小学生までの医療費が急激に上がって不足を生じた。

防犯対策費を1000万円減額

問 防犯対策費の光熱水費が1000万円減額になった理由は。

答 令和4年度に行った水銀灯のLED化と、国の電気料金に対する補助制度が延長されたため。



桜が丘運動公園野球場

令和6年度当初予算379億1,108万1千円を可決

会計名	令和6年度予算	令和5年度予算
一般会計	218億1,239万5千円	200億101万8千円
特別会計	111億6,463万4千円	112億7,134万5千円
国民健康保険	56億8,122万3千円	56億2,800万4千円
後期高齢者医療	8億2,513万0千円	7億8,255万8千円
介護保険	45億3,248万9千円	47億2,432万1千円
訪問看護ステーション事業	5,215万0千円	5,375万0千円
宅地等開発事業	4,284万7千円	4,284万7千円
竜天オートキャンプ場	2,384万3千円	2,264万4千円
財産区	695万2千円	1,722万1千円
公営企業会計	49億3,405万2千円	46億3,514万2千円
水道事業	17億1,202万7千円	15億4,349万6千円
下水道事業	32億2,202万5千円	30億9,164万6千円
合計	379億1,108万1千円	359億1,650万5千円

一般会計

LINE管理委託料に283万円計上

管理委託料について詳細説明を。

答 日本人の70%以上がLINEを利用して。市民が欲しい情報に絞って受信でき、市からもターゲットを絞ったメッセージ配信が可能となる。

予算は導入に係る管理システムの構築料、運用費用である。国が定めたガイドラインに沿って構築・運用する。

企画関連事業に653万円計上

問 山陽団地活性化の事業か。事業を進めるにはソフト面だけでなく、そのほかは考えていないか。

答 令和4、5年度に実施した、ひかりの実

プロジェクトを次年度も実施したい。

ハード面の事業で必要な経費が発生したら計上する。

空き家改修補助金等に1050万円計上

問 空き家改修補助金、空き家財道具等撤去補助金は、空き家情報バンクへの登録が条件か。

答 空き家改修補助金は中山間地域の物件であれば登録がなくても対象。空き家財道具等撤去補助金は登録が条件である。

問 令和6年度は補助金等が縮小されるのか。

答 現在100万円を上限にしているが、合併浄化槽補助、リフォーム補助等を活用して満額までいかない者もあり、令和6年度から引き下げを検討している。

地域おこし協力隊事業に145万円計上

問 協力隊員に対するケアや課題は。インターン制度の説明を。

答 全国的に起きている着任後のミスマッチを防止する目的で、応募する前にお試しで地域を知るための経費を計上。

現在も月1回、市職員との連絡会議や、専門家を招いてのフォローアップをしている。

インターン制度は、自費で2週間こちらに来て、いろいろ学んでもらう。市もサポートする。

選挙啓発費に14万円計上

問 若者の投票率が低い、若者以外にも総合的にきめ細かく選挙啓発して投票率を上げることができるとか。

答 二十歳の集い等でのチラシ配布、郵送経

費を計上している。

岡山県全体で新学習要領を見直して、高校生が選挙について詳細に学習することが新たに追加になった。

マイナンバーカードを使ったオンラインでの投票用紙の取得制度や郵便投票の広報を使って投票率を上げていきたい。

赤磐市職員数

問 会計年度職員が増えていることが全国的な問題になっている。正職員と会計年度任用職員の割合は。

答 正職員は426人。会計年度任用職員はフルタイムが25人、パートタイムが480人で合計505人である。

病児保育の事業に197万円計上

問 現状の説明を。

答 病児保育ができる県内の医療機関の保育

委員会のうごき

室を赤磐市民が利用できる。利用があれば市が負担金を支払う。市内の保育園でも病児保育に取り組んでいる。

複合型介護福祉施設の管理事業を皆減

問 指定管理形態が変わり皆減となったが説明を。

答 ハートフル太陽は市が日常的な維持管理の経費を計上していた。歳入の施設使用料と同等となったので運営管理費を皆減とした。

敬老事業助成金に1019万円計上

問 前年比47・2%減の理由を。1人2千円単位で渡していたが約半額なら助成金を下げるのか。いきなり来年度からというが、もう敬老事業の予定を組んでいる。町内・区長会の人は慌てるが。

答 指摘は承知している。

る。敬老会の開催率が低くなっており、敬老事業全体を見直す。敬老会を開催した地区への助成を中心に予算の見直しを行った。敬老事業の助成単価は2千円で維持するが個人への助成ではない。区長や町内会長への説明はまだできていない。

第3子以降給食費補助金に810万円計上

問 保育園、認定こども園の対象者数は。市から無料化の連絡があるのか。

答 ゼロ歳児から5歳児まで1300人のうち、750人が給食費対象。20%の150人が第3子と見込んでいます。できるだけ簡易な方法で申請する制度設計を考えている。

学校給食費等支援補助金に5282万円計上

問 幼稚園と小中学校の第3子以降の対象者をどのくらいと判断しているか。

答 幼稚園児は250人、小学生は2500人、中学生は1300人、合計4050人。対象者が20%と考えて800人と判断した。対象を絞り、国の助成も考慮してより効果的にと考え、第3子以降全員に全額を補助するとした。令和6年度は全額国の助成。令和7年度以降は、今後検討する予定。

こども医療費に2億3050万円計上

問 高校生が約1200人で新たに必要となる予算は700万円と聞いている。全体の予算は前年度と同額なのか。

答 令和5年度はコロナの5類移行で受診は増えたが、令和6年度は落ち着くと考えた。令和3年度、4年度実績で予算が残った点を考慮した。

小1グッドスタート支援事業補助金に228万円計上

問 予算の使い道は。

答 小学校1年生が円滑に学校生活をスタートさせるため、支援員を学級の人数に応じて配置する。

体育施設一般管理費に1億5623万円計上

問 前年度と比べて1億円程度上がっている理由は何か。指定管理は経費が安いということとで始めたが市が直接管理する金額と変わら

なくなってきたのでは。
答 主に人件費だが、電気料が高騰しており増額とした。施設運営の方向性も今後検討するが、市職員の人数も減っており、施設管理運営のプロフェッショナルに指定管理してもらうほうが、運営上の利があると考えている。

不動産売却収入7870万円計上

問 旧赤坂天然ライスの売却収入と思うが、突如売却収入の金額が上がってきたが、詳細な説明を。歳入があったら歳出があると思うがどこに出ているのか。

答 旧赤坂天然ライスの件は、昨年3月31日をもって指定管理が終了している。その後、利活用を踏まえ管財課の中で協議した結果、売却もしくは貸し出す案があり、売却の方向で市の財産を増やす方法を考えている。歳出

は、農林振興費の測量設計委託料165万円計上。旧天然ライスの排水処理の施設を使用していないので、解体設計の委託料を計上している。
問 7870万円の根拠は。
答 令和4年12月に不動産鑑定を行い、その当時の周辺の基準、市の固定資産の金額を考慮しながらこの金額を算出している。

問 不動産鑑定は令和4年に行っているが、正確であったかどうか説明ができるのか。
答 時間が経つにつれてその評価も変わってくるので、時間の経過の修正をしていく。



旧赤坂天然ライス

**就農等支援センター
工事請負費449万
円計上**

問 就農等支援センターの工事請負費449万9千円の説明を。

答 就農等支援センターの給水装置の新設工事61万6千円、是里ブドウの生産団地の造成工事388万3千円である。

**松くい虫等防除事業
2722万円計上**

問 昨年より558万8千円増えているが理由は。

答 ヘリコプターの燃料費と薬剤の高騰によって金額が増大している。

問 空中散布を減らすなど検討を。反対の声が出たら検討するのか。

答 現実的には空中散布しているので他の方法はとりにくい。地域のご意見は取り入れていく。

**農業経営・生産対策
事業7384万円計
上**

問 農業次世代人材投資事業の補助金、新規就農者育成総合対策事業費補助金の対象者は。

答 前者は7人。後者は、継続が6人と新規が3人で計9人である。

**観光振興事業補助金
100万円計上**

問 観光振興対策事業費で今回、花火、あかいわ祭り、ワインフェストなど予算が削除されているが。

答 この3つのイベントは市の3大イベントと位置づけている。実行委員会で今後のイベントの方向性を協議検討していくことになっているので予算計上していない。

**地質調査費委託料
1030万円計上**

問 盛土の地質調査委

託料1030万円の説明を。

答 県の調査で令和4年度で造成年代調査、資料における調査は完了している。赤磐市内には大規模盛土といわれる箇所が81カ所ある。そのうち気になる所が2カ所あり、ボーリング調査や解析業務を実施する。

**道路改良事業1億7
097万円計上**

問 道路新設改良費の説明を。具体的にはどこか。

答 岩田長尾線の工事関係の補償費と工事費、新拠点に関する道路整備の詳細設計業務を予定している。国の補助事業で、正崎西中線、岩田長尾線、長尾長田北線、岩田長尾線関連の路線を要求している。



市道岩田長尾線

**後期高齢者医療
特別会計**

**後期高齢者医療保険
料に6億2652万
円計上**

問 保険料が上がるが、金額は算定しているのか。

答 4月から保険料は上がるが、予算の編成時、率がまだ確定していなかったため、新しい率での予算編成になっていない。

**6月議会の
お知らせ**

- 6月4日(火) 議案上程
 - 6月6日(木) 一般質問
 - 6月7日(金) 一般質問
 - 6月10日(月) 一般質問
 - 6月14日(金) 質疑・委員会付託
 - 6月18日(火) 総務常任委員会
 - 6月19日(水) 厚生文教常任委員会
 - 6月20日(木) 産業建設常任委員会
 - 6月24日(月) 予算常任委員会
 - 6月28日(金) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)
- ※この日程は予定です。日程は、5月27日開催の議会運営委員会で決定します。

一般質問

市の考えを問う



13人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
安藤 利博	山陽団地の活性化対策 過疎地域対策 公共施設削減・利用計画	治徳 義明	防災減災対策について 山陽団地の活性化について
永徳 省二	市長の施政方針について 通学路の安全について 路面電車を赤磐市に について 高校誘致について	福木 京子	補聴器助成制度の創設を 公共交通について 国保の「均等割」の18歳まで全額免除を 山陽団地の中心部などの取り組みは 自衛隊への名簿提出について
金谷 文則	新年度の主な事業と引き続いて行う、特に重要な事業の計画、展開について 安心安全な暮らし良い街として人に来て もらい住んでもらえる街づくりについて 自然エネルギー利用の発電について 赤磐市の農業ビジョンについて	鼻岡 美保 ※欠席のため 質問なし	学校給食無償 ソーラー発電設備の認可について 消火栓について 市の防災計画
光成 良充	過去の一般質問の振り返り・再検証 能登半島地震について	大口 浩志	就学前こども会議（仮称）の設立を 景観保全（美化）について 防災・減災について
松田 勲	市の防災・減災対策について 宅配ボックス設置支援制度について	原田 素代	12月議会での最終処分場の説明につい て 立地適正化計画の進め方
下山 哲司	赤磐市は入札は適正に行われているか 給食センターについて 雨水対策事業について 斗有、吉井地域の農業振興事業について	佐藤 武文	市民との約束事は果たされているのか まちづくり計画の説明責任は十分果た されているのか 社会教育をどのように進められるのか
保田 守	山陽団地関連 旧山陽町時代の墓地の計画地について 新拠点整備事業について タクシー券について	<p>表紙の一言</p> <p>庄徳庵は1980年に茶道文化の繁栄のため、地元企業から寄附された建物です。 令和5年度の修繕工事により、かやぶき屋根からガルバリウム鋼板屋根にリニューアルされました。 今後は公民館まつりやお月見会などで、お茶室等で利用される予定です。</p>	
大森 進次	桜が丘いきいき交流センターの修繕につ いて タブレット端末を活用した窓口業務のそ の後について 有機農業、有機無農薬農業の取り組みに ついて 自転車のヘルメット着用率向上について		

3月定例会のあいま

委員会のいっぽん

いっぽん質問

その他協議会等



安藤利博議員

PDCAサイクルを回し 作成した計画の実現を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

山陽団地の活性化策

問 山陽団地は高齢化率が50%を超えた。「山陽団地等活性化対策基本構想」では取り組みを推進するためにPDCAサイクルを繰り返して進行管理し、定期的な見直しをするとあるが、見直しはいつ行い、どう見直したか。

答 構想を実現するために各種取組を実施している。今後は有識者会議に諮るなどして取組の改善を行っていく。

問 山陽団地の空き家は県営住宅を入れて626戸。基本構想には学生寮やシェアハウスとして活用するとある。IPUとの連携は。

答 IPUは敷地内に学生寮があり新たにという声は聞こえない。

問 ショッピング跡地の出店業者斡旋、出店補助は。

答 地域のポテンシャルを引き上げた先に店舗補助をして魅力ある出店を図る。

問 駐車場確保は。

答 更地にして駐車場にすることが促進されるよう声掛けをする。

過疎地域対策

問 将来を見据えた中・長期計画を示すべきでは。

答 記載されていない事業も含めさまざまな施策に取り組みることにより過疎地域の活性化に努める。

問 山陽団地、桜が丘中央、過疎

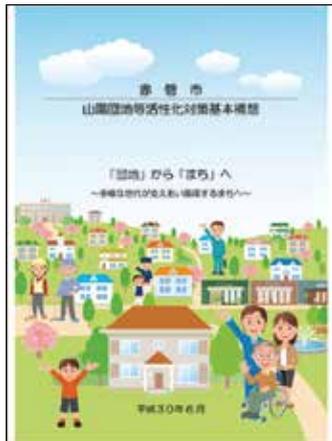
地域の課題解決のためには、地域整備推進室の拡充は。

答 今後の市役所組織の在り方という観点から研究していく。

公共施設等総合管理計画

問 令和46年度までに公共施設の床面積50%削減は実現可能か。

答 単純に除却、縮小するとは進められない。一つ一つ計画に沿って実現していく。



山陽団地等活性化対策基本構想



永徳省二議員

路面電車（LRT） を赤磐市に！



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 進捗状況を尋ねる。JR西日本、岡山電気軌道、外資系大型倉庫店、ホテル、温泉施設、岡山県知事、国会議員への活動は。

答 JR西日本、岡山県とは赤磐市地域公共交通会議の委員をお願いしており、LRTについて情報共有し共に研究していきたい。その他の各方面については、必要に応じ機会を捉え働きかけをしたい。

施政方針について

問 水道料金の値下げについて、昨年の定例会で私は『高い水道料金』の質問をした。岡山市の1・45倍、和気町の1・42倍、備前市の1・34倍高いと指摘した。そこから1年で値下げの議案が出た

が、1世帯当たりの平均月額値下げ料金はいくらか。

答 一般家庭で利用される水道管口径13ミリ及び20ミリで、基本料金が126円の引下げ。

問 吉井地域での企業誘致は令和6年度着工だが、具体的な新規雇用数は。

答 80名程度と聞いている。

高校誘致について

問 要望書は県知事、教育長に提出したのか。中四国地方、関西地方で唯一市内に県立高校がない赤磐市としてどうするのか。赤磐市の子供たちは唯一取り残されている。

答 要望書という形ではなく口頭で岡山県の教育長に伝えている。



次世代路面電車（LRT）



金谷文則議員

赤磐市の農業ビジョンについて



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 赤磐市の農業ビジョンについて、こういふふうにするという話はあるが、果たして今の赤磐市の農業に合っているか疑問なところがある。農業支援センター予定地を使って、重畳野菜を作っていくという会社が来て、赤磐市全体の農業について指導というか、農業を引っ張っていくようなけん引となっていくか危惧している。安心できる形での答弁を。

答 現状は農業従事者の高齢化、後継者不足、農家の減少、コメの価格の下落、耕作放棄地の増加等、厳しい状況が続いている。農業を若い世代の安定した雇用を創出する仕事に育てること、真の基幹産業であると言える。そのために三つの大きな柱を立てて進めている。農業の大規模化、効率化。野菜や果物など米以外の作目の栽培支援。職住近接による兼業農家の支援の三本柱を力強く進めるための赤磐市就農等支援センターの組織設立に注力する。



赤磐市就農等支援センター元予定地

問 農業をどうやってやるか大綱を掲げているが、農家にとって一番大切なものは、農業をやって生活ができるかどうかだ。これについてどうか。

答 収穫してお金に換えて初めて完結すると常々言っている。さまざまな施策をやっていくということを模索状態だが、チャレンジしている。

問 専業で食べていける農業を企画していか

答 設定しづらい。職業として就ける農業の推進を目指している。

問 16歳から18歳までの医療費無償化について

答 過去に幾度となく医療費の無償化を提言してきたが、不適切な医療機関での受診などの懸念があり歯止めをかけるためにも1割負担は継続したいと答弁があった。現状はどのように考えているのか。

問 能登半島地震について

答 議員などから提言を受け内容や財源の検討をした結果、令和6年度から18歳までの医療費を完全無償化とする条例改正案、当初予算案の上げをしている。

問 不適切な受診などで医療費の増加の懸念がある中、医療費の無償化に向けた経緯は。

答 「子育てするならあかいわ市」と標榜している中、県内で無償化の5市町村に入っている。不適切な受診等につながるよう保護者、高校生などの対象者に啓発を進める。



能登半島地震の支援に向かう赤磐市職員(1月2日)



光成良充議員

18歳までの医療費の無償化はどうなるのか



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 今までの支援状況は。

答 人的支援は石川県七尾市で避難所運営、物資受入・配布などの業務に職員を派遣し、県の対口支援に富山県水見市での罹災証明発行業務に職員を派遣し、物的支援は水、食料、トイレ凝固剤、肌着等の物資支援を行った。

問 市民の中には支援したいという人がいる。高校生が学校を越えて立ち上げた「学生ボランティア団体しゃもじ」もその一つで、情報がなく支援したい

答 支援するメニューが決まれば、実現するための人的支援が必要。高校生のボランティア団体として現場の状況を見て触って支援できるようにコーディネートができないか考えている。



松田 勲議員

市の防災・減災対策は 大丈夫なのか



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 近い将来可能性が高いと言われている南海トラフ地震。山崩れや道路の崩壊・隆起、建物の崩壊、火災等が発生し交通網の遮断、停電、断水等さまざまなことが想定される。

市内の建物の耐震化、上下水道管の老朽管対策、避難所でのマニュアル化等、防災・減災対策は大丈夫なのか。市民の関心が高い今だからこそ、自助、共助、公助の中で具体的な計画・取り組みを早急に示していくべきではないか。

普及啓発に努めていく。水道管の耐震化については、現在浄水施設から配水池に送る送水管及び配水池から各家庭に供給する配水管など、更新時にダクタイル鉄管や水道配水用ポリエチレン管など耐震性能を有する管に順次交換している。下水道管も、耐震性能を有する管を布設している。

答 市内の建物の耐震化は住宅で7割程度、県平均の8割を下回っている。耐震診断や耐震改修に係る費用の一部を助成することによって耐震化の促進の

る。身近な問題としては、宅配の再配達。ネット購入者がますます増えていく中で、宅配ボックスの設置を後押しする支援をしていくべきではないか。

問 働き方改革を進めていく中で、物流業界では2024年問題と言われるが、いよいよ4月1日から始まる。身近な問題として、宅配の再配達。ネット購入者がますます増えていく中で、宅配ボックスの設置を後押しする支援をしていくべきではないか。



元日の能登半島地震による被害状況

問 周匝、福田、稲蒔の少数の人が取り残された事業はどうなるのか。

答 意見を聞きながら対策を取っていきたい。市民の声を届けてもらいたい。

問 斗有、是里地区の農業振興事業は予定した状態にあるのか。

答 市の特産の桃、ブドウの産地維持について生産規模拡大に取り組んでいる。斗有地区の桃団地は客土、畦畔除去、基盤整備が完了し来年度は機械設備の導入支援を進める。

問 排水ポンプがあっても排水路がない



排水ポンプがあっても排水路がない



下山哲司議員

雨水対策は これで良いのか



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

するののか。

答 プロポーザルで業者を決定し1億5840万円、3年間の委託契約している。今後委託で事業実施していく。

は県、東備農業普及指導センター、地元及び地元生産組合と圃場整備の設計協議をする。

問 周匝、福田、稲蒔の少数の人が取り残された事業はどうなるのか。



保田 守 議員

旧山陽町時代の墓地計画の土地について



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 旧山陽町時代、墓地計画があり、計画が取りやめになって20年以上が経過したが墓地用地はどうなっているのか。また、墓地以外の使い道はないのか。

答 市民のニーズや現在の財政状況を踏まえ、早期の墓地建設は考えていないが、今後市民のニーズが高まれば墓地の形態も含め検討したいと考えている。この用地については、墓地事業開発用地として、県の許認可を受けているため、他の事業での活用についてはコメントできない。

タクシー券事業について

問 乗れないタクシー券をもらってもしょうがないと、何人かの人

に意見をもらった。予約も取れず結局は使えなかったそうだ。タクシー利用者について見通しが甘かったのではないか。

答 一応台数は確保したという認識で始めたが、タクシーが来ないという意見があった。この点については真摯に反省し今後に生かしたい。

県営住宅の跡地について

問 山陽6丁目の県営住宅を解体した跡地について、今まで通りの計画で進めるのか。

答 現時点でこの計画を変更することは考えていない。

問 1年2年このままが進まない可能性があるのなら、この土地の



山陽6丁目の解体した跡地

草刈りなど管理をお願いする。
答 4月5月になると草が勢いよく生える。早く活用を決めていきたい。それまで管理は市民に迷惑にならないよう努める。

問 桜が丘いきいき交流センターの修繕について、音響機器、照明機器など不具合を見受けられることが多くなってきたように思う。計画的に更新の必要性があるのではないか。

答 施設の管理は、修繕計画に基づき維持管理を行っている。最近では音響機器類の経年劣化が顕著で、運営委員会から改善要望を受けている。令和6年度予算で音響機器、空調機器、センター内の壁紙の修繕を予定している。

問 ライフサイクルコストを勘案しながら長寿命化を図り、計画的な改修・改善・修繕をし適正かつ効率的な施設運営をしなければならぬと思うが考えは。安全に快適に利用



大森進次 議員

桜が丘いきいき交流センターの修繕は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

できるよう、効率的な維持管理に努め、日々の点検を励行し計画的修繕に努める。

タブレット端末を活用した窓口業務について

問 現在の利用状況と活用に問題はないのか、市民への浸透はしていないのではないかと、さらなる普及に向けての取り組みはどのようなか。

答 本庁、各支所窓口でタブレットを活用したオンライン相談の方法などを掲示して周知を図っている。利用状況は、オンライン相談のほか、翻訳機能を使用した外国人対応など、少ないながら活用実績も出てきている。

有機農業、有機無農薬農業の取り組みは



市役所窓口を設置しているタブレット

問 消費者は、農家から市場への供給拡大を強く求めている。市の現状と取り組みは。

答 慣行栽培に比べて栽培効率が欠けることから普及が進んでいない。今後も国、県の施策を注視し、有効な支援策があれば市内農業者に案内したいと考えている。



治徳義明議員

防災・減災対策は最重要課題である



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 本市の耐震化率は。

答 住宅で7割、多数の人が集まる建築物で9割程度である。

問 能登半島地震で防災意識が高まっている。耐震診断や改修などの耐震化の補助制度を市民に促すとともに拡充をすべきでは。

答 広く周知徹底を図っていく。拡充は即答できない。

問 家具転倒防止対策を市民に促すために、補助制度を導入すべきでは。

答 今後、研究する。

問 本市にも液状化の危険度の高いエリアがある。新しい液状化ハザードマップを作成し、それを活用した市民とのリスク・コミュニケーションを行うべきでは。

答 検討する。

問 能登半島地震での福祉避難所の開設が2割程度との状況を考えれば、福祉避難所を増やすとともに、施設の改修や周辺整備等が必要では。

答 関係団体と協議をしながら増やすよう努める。改修等は必要箇所について検討する。

問 二次避難等の広域の連携は。

答 県と調整する。

問 「防災アプリ」の導入は。

答 災害時の情報発信ツールとして重要である。使いやすいものを研究中である。

山陽団地の活性化

問 規制緩和を検討中のエリアにある旧・若草幼稚園の活用は。

答 活性化計画、財源、地域の意向を踏まえて利活用を検討する。

問 団地活性化サポーター制度の導入は。

答 近隣の大学と連携して仕組みを構築する。

問 山陽団地の高い公共擁壁の安全対策は。

答 本年度、より詳細な状況を調査中である。結果を踏まえて必要な対策を行う。



能登半島地震の状況



福木京子議員

赤磐市も補聴器助成制度の創設を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 全国的に補聴器購入に独自の助成を行う自治体が1年間で2倍に。厚労省も研究し発表。県内でも広がっている。赤磐市はどごまで検討しているのか。

答 難聴と認知症との関連の赤磐医師会主催の講演会も拝聴した。補聴器購入後のアフターフォローができていない現状もあり慎重に検討する。

問 山陽団地の西回り線は下市方面では午前中1便だけなのでもう1便増やすべき。

答 市民バス山陽団地線は要望がある。令和6年度予算に増便の経費を計上しており、運行時刻・経路について検討中である。

山陽団地の西回り線の市民バスの増便を

問 山陽団地の中心部が更地になってもう1年半になる。進捗状況を詳しく報告を。

答 所有者の方と2、3カ月ごとに連絡を取っている。民間の方が今一生懸命動かれていますので見守りたい。

検討中である。

国保の均等割を18歳まで免除を

問 子育て支援策として国保の均等割を18歳まで免除すべきだ。

答 均等割減免の拡充は、他の保険者に負担を求めることになるので市単独では困難。全市市長会に働きかける。

山陽団地中心部の取り組み状況は

問 山陽団地の中心部が更地になってもう1年半になる。進捗状況を詳しく報告を。

答 所有者の方と2、3カ月ごとに連絡を取っている。民間の方が今一生懸命動かれていますので見守りたい。

自衛隊への名簿提出は

問 自衛隊へ18歳と22歳の名簿をラベルで提供しているが、個人情報保護法では違反になるのではないか。

答 自衛隊の募集については市町村への法定受託事務である。令和5年分から宛名ラベルとしている。手法は毎年検討し方針を決める。



山陽団地線の利用者の状況



大口浩志議員

就学前子ども会議(仮称)の設立を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 幼稚園、子ども園、保育園関係者の合同会議の設立を。

答 私立・公立を含めて今後の見通しを整理し、協力していく場を持つことは大変有意義であると考える。

問 園長同士の交流の場であるとか、ハードルの低い取り組みから始めては。

答 しつかり検討する。

環境保全(美化)について

問 環境保全(農林業の視点も含め)について、今ある補助金とか施策のアレンジで何かできることはないか。

答 放置された自然ではなく、ある程度管理された自然に持って行くよう、関係部署、横のつながりをきち

と取って、市民が使いやすい補助制度を作り、運用したい。

防災・減災について

問 能登半島地震を受けての学びは。

答 大規模災害においては職員自体も被災しており、防災計画通りにいかなかったことも多かったのではと感じている。

問 すぐに取り組むべきことは何か。

答 自主防災組織や防災士の育成をより推進していく。

問 自主防災補助金、耐震改修補助金等の申請数が寂しいが、使い勝手の向上はどのように考えているか。

答 早急に市民ニーズを調査し、どのような手があるか検討してい



能登半島地震への支援物資積み込み作業

く。

問 災害派遣の職員の特殊勤務手当は。

答 現在ない。

問 ないままでいいのか。規定の旅費・手当等で賄えないものもあると思うが。

答 県や近隣自治体の動向を踏まえて検討する。



原田素代議員

立地適正化計画の3者協議会の役割は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 生活利便ゾーンと産業振興ゾーンは民間業者と地主である市民の契約だと言われたが、3者協議会で進めると聞いた。市が3者に入っているのではないか。

答 計画を説明する立場で昨年の春から3者が会合を持っている。

問 国が許可している計画では、ホテル、映画館、大型商業施設、配送センターなどが予測される。同業者が競合した場合、地主である市民が決定するのか、市の判断が求められることになるのか。

この判断には利権が生じる。また市民と業者だけの売買契約となると、「ここだけの話、あなたには高く買うから売ってくれ」などのルール違反などが起き

る可能性があるのです、そういうのを避けるシステムが必要になってくると思うがどういう対応をするのか。

答 それについてはあくまで民と民で解決する部分で、市は一切差配しない。

問 市長が特定の事業者に差配をしたと聞いている。

答 そのようなことは一切ない。

問 ゴミの最終処分場は2011年に建設計画が出ているが、市長は20年たってもできないと発言している。さらに、全く別の計画を議会で議論をしないまま、市民に丸投げのよ

うな形にしている。

答 厚生文教常任委員会委員に、説明がある程度できていると確認をしている。令和2年の廃棄物減量等推進審議会へ原田議員は出席しているのになぜ意見を言わなかったのか。

問 その計画書に、クローズド型という記載がない以上、審議会で発言はできない。事実を知ったうえで答弁するべきで、大変失礼だ。

答 周辺環境に影響が少ないクローズド型を提案している。



「都市機能の集積による新たな拠点の形成」イメージ図



佐藤 藤文 議員

赤磐警察署の誘致は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

- 問** 赤磐警察署の誘致は市民の悲願であるが、残された任期でどのような調整を行うのか。
- 答** 岡山県警に対し、熱い要望を引き続き行う。
- 問** 最終処分場は、赤磐市に必要無くなったのか。
- 答** 計画を見直しながら地元説明を粘り強く行っていく。
- 問** 近代農業を展開するとの約束は、どのような事業を行ったのか。
- 答** 農家や新規就農者の選択肢の幅を広げる次世代農業技術集積センターの計画が着実に進んでいる。
- 問** 企業誘致は重要な課題であるので、担当部署を設けるべきではないか。
- 答** 総合的な担当部署として営業活動などの事実を進める部署は必要である。
- 問** 道の駅はいつになったら完成するのか。
- 答** 都市計画の見通しがつけば、スケジュールの明言ができる。
- 問** 大型商業施設を誘致する内容説明が、議会には一切報告がないが、将来の交通渋滞・治安に心配はないのか。
- 答** 交通渋滞の課題は、市道岩田長尾線へ誘導する対応を考えている。
- 問** サッカーをする少年等が年々増えているが、会場整備についてはどのようなように考えているのか。
- 答** 改修等についても教育委員会
- が主体となって研究していく。
- 問** 公民館活動が低下している原因は何か。
- 答** 魅力のある講座や教室を検討し、利用者の増を図りたい。
- 問** 公民館のトイレ改修の要望は聞き入れないのか。
- 答** トイレの洋式化を進めていきたい。
- 問** 地区地域の伝統文化をどのように継承していくのか。
- 答** 地域の伝統文化の継承は連携を図りながら進めていく。



サッカーの練習風景

議会全員協議会

主な協議・報告事項

2月9日

- ・令和6年3月第1回赤磐市議会定例会について

3月7日

- ・厚生年金への地方議会議員の加入について
- ・住民監査請求について

入を求める意見書の提出について

議会ICT推進委員会

主な協議・報告事項

1月18日

- ・タブレットの活用
- ▽紙文書との併用

期間の検討

▽会議システムの運用について

前記事項の協議内容を議会運営委員会に報告した。

赤磐市議会議員研修会

令和6年2月2日に赤磐市役所熊山支所大会議室において、講師に自治体議会研究所代表 高沖秀宣氏を迎え「議員の資質向上と議会運営の基本」をテーマで研修を行いました。

議員の資質向上のためには一般質問のレベルを上げる。一般質問を議会の活性化に繋げ政策提言に結びつけることで図っていく。また、ポストコロナ時代の議会運営には、オンラインによる本会議開催を視野に入れていくべきと講義を受けました。



議会改革検討委員会

2月8日

・議会改革に関する提案について

オンライン会議検討
専門部会

部長 安藤 利博
副部長 大口 浩志
委員 金谷 文則
委員 光成 良充

3月19日

・議会改革に関する提案について

議員報酬・政務活動
費検討専門部会

部長 松田 勲
副部長 牛尾 直人
委員 下山 哲司
委員 佐藤 武文
委員 保田 守
委員 大森 進次

機会改革に対して検討のため、次の3つの専門部会を設置した。

若者・女性参画検討
専門部会

部長 福木 京子
副部長 永徳 省二
委員 実盛 祥五
委員 原田 素代

まちづくり調査 特別委員会

主な協議・報告事項

2月8日

・道の駅に関わるニーズ調査について

・次期赤磐市総合計画の策定について

3月15日

・委員からの提案等について



議場



委員会室



市役所1階ロビー

編集後記

令和4年8月から熊山支所に移転していた議会は令和6年3月25日から本庁舎での業務を再開しました。

改修されてきれいになった議場、委員会室、協議会室などより一層、議員活動に力が発揮でき、活発な討議ができると思います。また、新型コロナウイルス感染症対応で人数制限していた傍聴も対応前に戻して本会議は30人、委員会は10人まで傍聴できる予定で、臨場感ある議会を体感していただけたいと思います。

3月議会では、赤磐市社会福祉協議会への補助金等の予算を減額する修正議案を可決したことにより、市民の皆さまには市の福祉行政に不安と心配をおかけしております。社会福祉協議会には早急に就労環境等の指摘した点を改善していただき、赤磐市からの補助金等が支払われる体制を整えていただくことを願います。

広報広聴委員(広報部会)

● 部長 光成 良充
● 副部長 鼻岡 美保
● 委員 福木 京子
● 委員 大口 浩志
● 委員 保田 守
● 委員 安藤 利博